

Monthly Report

Vol.41 広報室

平成21年10月23日発行

目次:

小室さん海外遠征へ	1
学長宛御礼状	2
藤原徹准教授報告	3
訪中団	4
ハンドボールコート改修	5
佐藤光浩さん引退報告	7
OBの二宮ゆかりさん	8
学生の活躍	9

小室希さん海外遠征へ

スケルトンの小室希さん（院2）が2010年バンクーバーオリンピックの出場権を獲得するために10月11日（日）に海外遠征に出発しました。世界選手権などの大会に出場して世界ランキング20位内、日本人トップのランキングを目指します。

10月22日にはNHK「おはようニッポン」全国版で特集が組まれるなど期待の大きさが伺えます。

小室さんの他にも多数のOBがボブスレー・スケルトン種目でバンクーバー五輪の出場権を獲得するために海外での戦いに挑んでいます。

12月中旬に良い報告が聞ける事を期待しましょう。



学生の活躍や、取り組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

広報室

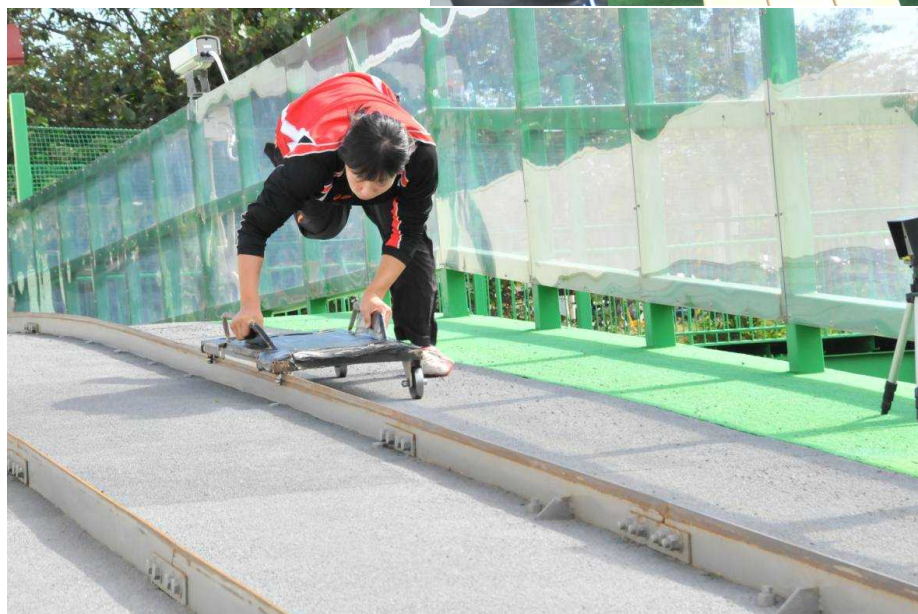
直通 0224-55-1802

内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp



「スポーツマネジメント実習」・「生涯スポーツ指導実習」で宮城県蔵王自然の家で活動した学生に対し、学長宛御礼状が届いております。

拝 啓

突然のこのような手紙で申し訳ございません。

夏休み中にお世話になった、仙台大学の学生さんにすぐにお礼の手紙と思いましたが、このように遅くなりまして、すみません。

私は、石巻に住んでいる鈴木国也ともうします。8月12日～14日に、蔵王少年自然の家に家族旅行をしました。

そこで、仙台大学の3名の学生さん方との触れ合いが大変心に残りました。

加藤さんと 裕菜さんと 絢子さん には、息子たち（小4・小2）が大変お世話になり、またかけがえのない思い出をつくることができました。

ハイキングのときには、学生さんたちと同行していただき、息子たちはお姉さんやお兄さんに沢山励まされ、楽しくすばらしい経験をさせていただきました。

その後、お風呂にも入れていただき、帰るときには、車の所まで、荷物を持っていただきました。

なんと誠実で、さわやかな学生方だろうと、家族で感心したしいです。

今時の若者は などよく世間では言われますが、このようなすばらしい若者がいることをうれしく思いましたし、このような学生を育てている仙台大学にも、御礼をと思い、このような突然の手紙を書くことになりました。

3名の学生さん方には本当に感謝です。ただ単位とるためだけの実習ではない、誠意ある姿に感動もいたしました。私の息子たちも、このように何の見返りも期待しないで人と接することができるさわやかな青年に成長してもらいたいと思いました。

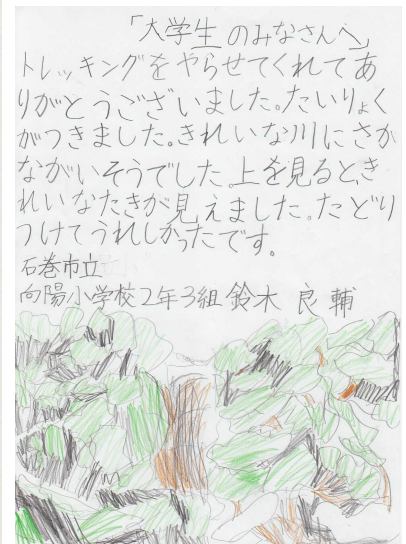
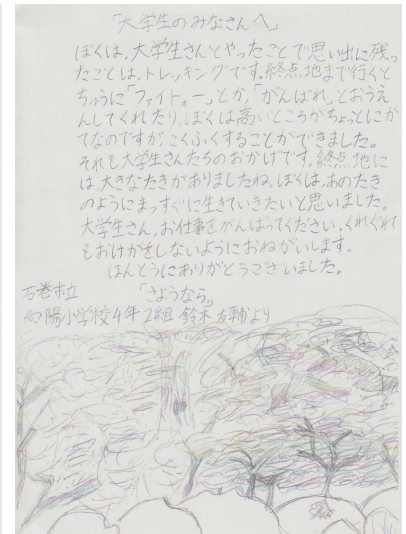
今後とも勉学に励み、すばらしい教職関係の職務に就かれることをご期待しております。

ありがとうございました。

敬 具

石巻在住

鈴木 国也



写真と御礼状は鈴木様より



学生氏名

- ・首藤裕菜さん（体育学科3年）
- ・加藤和宏さん（運動栄養学科2年）
- ・折原咲季さん（運動栄養学科2年）
- ・高橋絢子さん（運動栄養学科2年）

なお、鈴木様へは後日、学長と関係した学生からそれぞれお礼状をお送りしております。

藤原 徹准教授 国際交流提携大学 台湾国立台東大学からの報告

現在、本学と国際交流提携関係にある台東大学に海外研修中の藤原先生よりMonthly Report向けに台湾での暮らしぶりを含めたご報告をいただきましたのでご紹介します。

卒業式



写真1

6月13日に県立の体育館で卒業式が行われました。卒業生はハウマイイーという服装に帽子で出席します。挨拶は学長のみが行い原住民族のオリジナルダンスや現代風のダンスなどが行われました。その後、卒業証書授与式が行われ、学長が修士、博士課程の修了生に証書を一人ずつ渡し、副学長、教務部長、学務部長の3名が各学科の代表者に卒業証書を同時に渡します。その間、卒業生は席を離れて自由に後輩から花束をもらったり、両親や後輩と写真撮影をしたりとまるでFestivalのようです。

台湾の行政院体育委員会



写真2

行政院体育委員会とは、日本で言うNational Training Centerで、高雄市にあります。競技の練習、合宿、トレーニング、治療からリハビリなどを行う所です。高雄市のほか台北市(未見学)にもあるそうです。



写真3

写真4

バレーボールの台湾代表(チャイニーズ台北)とジュニア代表(高校選抜)の女子監督は坂口先生(元嘉悦女子大学監督)が指導して4年目となるそうで、7月に行われるジュニア世界選手権(メキシコ大会)のために練習をしているところを許可を得て見学に行きました。(日本は新型インフルエンザのため出場辞退している)

施設は充実しており、選手の能力も高い学生もいるが強化対策が課題であることや、良い指導者が不足しているようであると言っていました。

台風が日本より接近する回数が多いです。

9月30日 国立台東大学 藤原 徹



写真5



写真6

写真1は卒業式の模様。服装は黒は学卒、黒に青が修士課程、黒に黄色が博士課程。
写真2は行政院体育委員会前にて。
写真3はバレーボール台湾代表の練習風景。
写真4は坂口さんと共に(元嘉悦女子大学監督)
写真5はプール。
写真6は怪我や治療とリハビリの施設。

訪中国として学生2名が参加

9月16 - 22日に永井希さんと中野拓也さん(共に体育学科2年)が日本大学生訪中団員として全国の大学生200名と共に中国に渡航し、北京・上海・武漢の3都市を回って、北京オリンピック施設や世界遺産、大学の見学を行ったほか、現地の大学生や子ども達との交流をはかりました。

長井希さん(体育学科2年)



中国語を履修していた事をきっかけに中国に興味を持つようになり、費用がかからないということもあり参加を希望しました。現地では日本語学科に属する中国人学生と多くの交流を持つことができました。日本で流行の音楽や、訪中期間におこった政権交代を教えてくれるなど、自分達以上に日本の情勢に敏感で詳しく知っていたことには驚かされました。また、中国の2つの大学を見学しましたが、仙台大学の4~5倍の敷地のなかに、博物館や美術館、音楽ホールがあったこと、学生が学内をカートで移動している光景を目の当たりにし、スケールの違いを感じました。

実際に中国に行ってみると、メディアで伝えられる中国のイメージとは違うところもあるので学生の方にはチャンスがあれば是非行ってもらいたいです。これから先、日本と中国との交流は広がるでしょうし、就職の際に役立つ可能性もあります。日本の他大学生との交流も兼ね、教養が広がるチャンスです。

中野拓也(体育学科2年)



仙台大学に来ている中国人留学生と話して文化の違い等を聞いているうちに、実際に中国に行ってみたく思うようになり、訪中団への参加を希望しました。

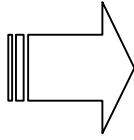
中国人学生との交流では、勉強に対する意識が日本人よりも高いと感じました。日本の学生は自分の考えをしっかりと持っている人が多く、その分、頑なに自分の考えを貫く人が多いように感じますが、中国の学生は自分が足りない知識は何でも吸収しようとする考えが強いように感じました。今回の訪中を経験して、海外で生活する興味が湧き、来年9月の中国国費留学に申し込むことを決め、帰国後も中国人留学生に中国語を教えてもらっています。もし、留学が決まれば勉強だけでなく中国の文化を吸収すると共に、日本の良さを中国人に伝えたいと考えています。一人の力では限られていると思いますが、日中の関係構築の力になりたいと考えています。

2人共、今回の訪中の機会を与えてもらった事に感謝していました。



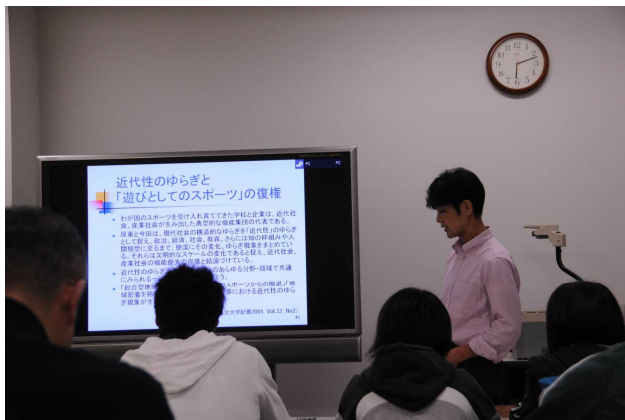
ハンドボールコートが多目的スポーツで利用可能に

～多目的スポーツ用床材導入～



10月5日にハンドボールコートの床の改修工事が行なわれ、多目的スポーツ用床材が取り付けられました。この床材は衝撃吸収に優れており、踏み出しや急な停止、着地時の横方向の膝や足首への衝撃や加重を分散・吸収する非常に安全性が高いものです。プロバスケットボールの試合でも使用されており、テニスやハンドボール、フットサルなど様々なスポーツシーンでも活用されています。今回の改修に併せて、テニスネットなどを固定する移動可能なポールも用意され、悪天候時の講義などでの利用が期待されます。

大学院1年コース 平成21年度リサーチペーパー中間発表会開催



9月29日と10月20日にE202教室において、今年度開設の仙台大学大学院スポーツ科学研究科修士課程1年コースのリサーチペーパー中間発表会が開催されました。

本学の修士課程1年コースは、学校体育領域 スポーツプロモーション領域 健康・体力支援領域と、3つの領域区分それぞれの実務経験者を対象としたコースとして開設されており、2年コースの修士論文に代えて、自分の専門分野で抱える課題を設定究明し、その解決策を研究内容とする「リサーチペーパー」が課されています。

9月29日には4名、10月20日には前回出張等で都合がつかなかった2名、計6名の修士課程1年コースの発表がありました。それぞれの属する職業の専門職域から独自のテーマでの研究発表がなされ、活発な質疑応答が行われました。この中間発表を元に11月の仮提出・査読を経て、2年コースの修士論文発表会と同日2月13日(土)にリサーチペーパー発表会が開催される予定です。

仙台大学学生が地域住民と共に交通安全をPR



平成21年秋の交通安全県民総ぐるみ運動(9月21-30日)の一環として24日に柴田町交通安全対策協議会が中心となり「柴田町・秋の交通安全街頭キャンペーン」が船岡駅などで行なわれました。柴田町の滝口町長や地域住民の方と共に、仙台大学の新体操競技部の丹羽涼子監督と学生4名がチラシを配って交通安全を呼び掛けました。

仙台89ERS佐藤真哉選手が来訪

10月20日(火)に本学OBで日本プロバスケットボールリーグ(bjリーグ)仙台89ERSの佐藤真哉選手(平成11年度卒)が来学し、大学にユニフォームを寄贈いただきました。

佐藤選手は東北高校から本学に進み、エースとして活躍。1997年のインカレではチームをベスト8に導いています。仙台89ERSには2005年の発足から所属し、チームの中心選手として活躍されています。今シーズン仙台89ERSは開幕から6連勝中。佐藤選手も3点シュートを次々成功させ、目下絶好調です。初優勝に向け、佐藤選手の益々の活躍が期待されます。



第2回就職ガイダンス開催

3年生の約8割が参加



10月20日(火)にB300、B103教室において3年生対象の第2回就職ガイダンスが開催されました。今回のガイダンスは就職活動を行なう際に必要な面接試験対策と就職活動におけるマナーについての内容で実施されました。17:40開始という遅い時間にもかかわらず、部活動等で忙しい中393名の3年生が参加しました。

毎日コミュニケーションズの橋本氏からは「就職活動を始めたばかりの学生が陥りやすいマナー違反について」の話や、(株)ディスコの富田氏からは「実際の面接試験におけるポイント」などが指導されました。今回の講座を受けて3年生は既に始まっている就職活動の難しさや大切さを改めて認識したようです。

私学事業団による経常費補助金に係る対象事業実施状況調査

10月8日(木)に日本私立学校振興・共済事業団の調査員2名が来訪し、経常費補助金に係る対象事業実施調査が行われ、担当部署が対応を行いました。調査員の方からは、「補助金は正しく処理されているので、今後も引き続き整備していく事が大切です。」との総評をいただきました。

今後とも引き続き教職員の皆様の遺漏なき事務処理へのご協力をよろしく申し上げます。



アテネオオリンピック代表 佐藤光浩選手が引退報告のため来学



10月14日(水)に本学OBで富士通陸上競技部の佐藤光浩選手(01年度体育学科卒、03年度院卒)が来訪し、朴澤学長に現役引退報告を行いました。

佐藤選手は400mを専門とし、本学に在学中の2001年東アジア選手権では4×400mリレーで金メダリストとなり、2003年日本選手権では45.50秒の自己ベストで初の日本一に輝き、同年のパリ世界陸上に出場。実業団の富士通に進んだ後も2004年アテネオリンピック、2005年ヘルシンキ世界陸上、2007年大阪世界陸上の日本代表として日本陸上競技界を牽引してきました。

朴澤学長には、両脚のアキレス腱痛で成績が伸びず、今年6月の日本選手権で引退を決意したことが報告され、佐藤選手は「仙台大学で過ごした6年間は自分が急成長できた時期。授業以外の時間は休み時間も惜しんで練習していました。1秒縮めるのが大変とされる400m競技で、在学中に2.3秒縮めることができたのは、練習環境に恵まれていたことが非常に大きかったと思います。仙台大学には陸上競技トラックはもちろん、ウェイトトレーニング場、プール、周辺には適度な坂道、砂浜にもいける距離だったので、最高のトレーニング環境でした。」と話し、後輩についても「今年のインカレで投擲競技の2種目制覇や日本学生個人選手権での三段跳び制覇など、活躍が目覚ましいので頼もしく感じています。私はインカレで優勝することはできませんでしたが。」と述べました。

朴澤学長からは、「せっかく大学院まで進学し学んだ経験を生かし、この引退を一つの区切りとして、次のステップでも頑張ってください。」と労いの言葉がかけられました。佐藤選手は今後も陸上競技に携る希望を持っているので、指導者として選手育成にも期待したいところです。

陸上競技部2名が東北学連選抜として杜の都女子駅伝に出場

10月25日に仙台市を会場に開催される「杜の都女子駅伝」に、東北学連選抜として陸上競技部の志賀愛香さんと東川陽子さん(共に運動栄養学科3年)が選出されました。

9月22日に開催された選考レースでは、上位2校に与えられる出場権を仙台大学として獲得することはできませんでしたが、代表校の選手を除くタイム上位8名の中に東川さんと志賀さんが入り、東北学連選抜として出場権利を獲得。合同練習を経て志賀さんが2区、東川さんが5区を走る事が決定しました。

東川さんと志賀さんは過去に学連選抜メンバーにも選ばれており、志賀さんは3年連続3度目、東川さんは2年連続2度目の出場となります。杜の都を駆け抜ける2人の活躍が期待されます。

ミヤギテレビ(12時0分~14時35分)でも放映されますので、是非ご覧ください。

2区は宮城陸上競技場前(12時29分頃)~
仙台市太白区役所前(12時50分頃)
5区はネットヨタ黒松店前(13時36分頃)~
宮城学院正門前(13時49分頃)

()内は先頭チームの中継所到着予想時刻



東川陽子さん

志賀愛香さん

仙台大学陸上競技部中長距離ブロックHP

(http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=sendai_chou)より

デンマーク留学中の二宮ゆかりさん(平成20年度卒)から高橋まゆみ准教授を通して大学にお手紙を頂戴しました

卒業後の報告

1. Nordfyns Folkehojskoleの簡単な紹介

私の在学するNordfyns Folkehojskoleという学校は直訳すると北フィン島国民大学という意味です。成人のための教育機関であり、デンマーク全体で約80校あります。この学校には様々なコースが開設されています。ダイエットコースや海外からの学生に対するインターナショナルコース、知的障がいのある人に対するライフラインコースなどです。開設されているコースはその学校ごとで違います。私は社会福祉コースに在籍しています。

この学校は全寮制のため教室と寄宿舎が同じ敷地内にあります。様々な国から来た人たち、障がいのある人もない人も共に生活します。その

共同生活を通して、お互いについて理解し助け合い、自分を向上させるよう努めます。資格などを得るための学校ではなく、今の自分から将来になりたい自分へ変わるためにはどうすればいいのかを考え、そのプロセスを重視する学校です。したがって、この学校では常に自分で考える姿勢というのが大切です。先生が $1+1=2$ と教えるのではなく、自分で考え答えを出します。しかも、その答えは多様にあっているのです。そしてその個人の考え方をディスカッションを通して発表し合います。このような活動を通してお互いへの理解を深め、福祉国家といわれるデンマークを支える民主主義について深く学んでいきます。

2. Nordfynsで社会福祉コースを選んだ目的

sorry... deleted image.

福祉国家・生活大国といわれるデンマークの福祉、特に障がい児・者の福祉の仕組みや制度について現地で学びたいと考え、選択しました。大学3年生の

ときに大学間の交流事業でフィンランドに行ったことで北欧の福祉に興味を持ちました。それがきっかけで今デンマークに来ているのですが、学んだだけで終わるのでは駄目だと思っています。学んだことによって私に何ができるのかを今は考

えています。国が違えば国民性や制度・法律が違うのが当たり前です。そのためデンマークと日本を同様に考えることはできません。しかし、日本にもデンマークにもそれぞれの長所があるはずです。それを学びに来た私ができることは、きっとデンマークの福祉の良いところを持ち帰り日本流にアレンジして実践していくことだと思います。将来は、「障がい児の学童保育」という分野でデンマークで学んだことを実践していきたいと考えています。実践することは論ずるよりもはるかに難しいことですが、できないとは思わずにどのようにしたら実践できるか、その可能性を追求していきたいと思っています。そして日本の福祉分野がよりよいものになるためのお手伝いが少しでもできたらと思っています。

sorry... deleted image.

3. 後輩たちへのメッセージ

私にとって大学生活とは多くの意味を持つ大切な時間でした。それは専門分野における勉強だけではなく、自分がこれからどんなことをしたいのか、どんなふうに生きていきたいのかを考えた時間だったからだと思います。大学生活を通して出会った知人や友人、先生方とのつながりのなかで、たくさんの考え方・生き方があることを知り、また私が行き詰った時には沢山の助言をいただきました。そして、それは少なからず今の自分に影響しています。

将来、なりたい自分が見えていれば、おのずと今、しなければならぬことが分かってくるはずです。大学生活を納得できるものにするかしないかは大学生活を送る自分自身次第だと思います。今こうして生きている間にも自分にしか歩めない人生を生きているのです。そう考えると、楽しくてもつらくても分からなくても充実して生きていたい私は思います。大学の後輩である皆さんにも充実した大学生活を送ってほしいです。今のあなたが考え決めて行動することが大切だと思います。もし考えて悩んで行き詰った時はどうぞ周りを見てみてください。あなたが一生懸命ならば、きっと力になってくれる人はいるはずです。

遠くからですが、みなさんの活躍を願っています。

デンマークより

平成21年9月30日

平成20年度健康福祉学科卒業

二宮 ゆかり

柔道インカレで田中美衣さんが優勝、五味奈津実さんが3位に



10月13日には南條監督と共に朴澤学長のもとを訪れて大会報告がなされ、田中さんから大学に優勝トロフィー、楯、賞状が寄贈されました。

田中美衣さん(体育学科4年)

2年前の同じ大会で優勝したときは初優勝ということもあり凄く嬉しかったです。今大会は目指しているロンドンオリンピックの通過点、優勝して当然と自分に言い聞かせて集中して挑みました。来月からは講道館杯、団体戦のインカレ、グランプリ(チンタオ)、東アジア選手権と試合が続くので、自分の柔道を出し切って勝ち続けたいです。

五味奈津実さん(体育学科1年)

大学では高校よりも1つ階級を落として52kg級で挑戦しています。高校では東京都大会での3位が最高成績で、今大会が初めての全国大会出場でした。優勝を目指していたので満足はしていませんが、3位という結果が残せた事は素直に嬉しいです。

来月行なわれる講道館杯には社会人選手も出場するので厳しい戦いになると思いますが、強化指定確実とされる3位入賞を目指して頑張ります。

10月11 - 12日に日本武道館で行われた柔道の全日本学生柔道体重別選手権(インカレ:個人)において、女子63kg級の田中美衣さん(体育学科4年)が2年ぶり2度目の優勝を果たし、52kg級では五味奈津実さん(体育学科1年生)が3位に入る健闘をみせました。

柔道のインカレは今回行われた個人戦と、来月22日の団体戦があります。団体戦でも昨年のベスト8を上回る活躍が期待されます。

全日本新人選手権大会



10月16 - 18日に戸田漕艇場において全日本新人選手権大会が行われ、本学漕艇部は男子エイトで優勝(3年ぶり2度目)を勝ち取り、今季最後の主要大会を最高の形で終えました。

この他、男子はダブルスカルに2艇出場して5位、7位入賞と出場した全種目で入賞を果たし、女子は舵手つきクォドルプルで4位に入賞しました。選手たちは来季の更なる活躍に向けて大きな自信を持つことができたようです。

体操競技部の瀬尾はやみさんが国体で長崎代表優勝



体操競技部の瀬尾はやみさん(体育学科3年)が長崎県代表として新潟トキメキ国体に出場し、2年連続の成年女子体操団体戦優勝に大きく貢献しました。「長崎県チームはチームワークが良いので、それが勝利の要因」と話しています。

瀬尾さんは母親の影響で、小学3年から本格的に体操競技をはじめ、中学・高校でも活躍し、国体には長崎代表として高校1年生から出場しているそうです。現在3年生の瀬尾さんは「最高学年となるので、後輩を引っ張って大学でも結果を出したい」と力強く話してくれました。

アメリカンフットボール部が13年ぶり2度目の東北リーグ制覇

アメリカンフットボール部が10月12日(月)に行われた秋田大学との試合に勝利し、東北大学との最終戦を待たずに13年ぶり2度目の東北リーグ制覇が決定しました。これにより今年新設された全日本大学アメリカンフットボール選手権出場を獲得しました。本学の初戦は11月15日(日)に駒沢陸上競技場(東京)で関東学生1部リーグBブロック優勝校との対戦となります。

アメフト部は専用グラウンドがないため、練習場所の確保に苦慮しているそうです。



新藤政幸さん(アメフト部主将、健康福祉学科4年)

今年は4月から部員勧誘活動と新入部員に徹底的な基礎練習を課してきました。大学のトレーニングセンターも有効に活用し、ストレングス&コンディショニングコーチの加賀氏が組んだメニューで部員全員の筋力アップに成功しました。この結果、1年生4名がレギュラーの座を獲得し、大きな戦力として活躍した事が13年ぶりの優勝という形で実を結んだと思います。

東北地方にはアメリカンフットボール部を持つ高校がないこともあり、部員は大学から競技をはじめするため、関東や関西の大学のレベルに達していない現状があります。そのため全日本大学選手権が今年新設され、全てのリーグに公平にトップをねらえるようになったことは、対戦を通すことで東北のレベル向上にも繋がると期待しています。

初戦は関東大学1部リーグBブロック優勝校との対戦で、厳しい戦いになりそうですが、東北代表として誇りを持って戦ってきます。応援よろしくをお願いします。

宮城県少年の船を知ってもらいたい / 佐藤浩司さん(健康福祉学科3年)



色々な人と関わる事が好きで、中学1年からジュニアリーダー(中高生のボランティアサークル)に登録し、子ども会や地域からの依頼を受けて児童へのレクリエーション提供や、キャンプの指導を行ってきました。現在はシニアリーダー(18歳以上の青年ボランティア)としてジュニアリーダーの指導や助言を行っています。3年前か

らは宮城県子ども連合会(県子連)などが協賛する宮城県青少年育成事業「宮城県少年の船」にもスタッフとして乗務しています。

この事業は宮城県が主催する事業で、次代を担う小学校5年生から中学校2年生の少年少女を県内各地から募り、船上研修やレクリエーション、訪問先での自然体験活動等を共に行うことにより、リーダーとしての資質を高めるとともに、子供たちのまとめ役として班に付く高校生が、活動を通してリーダーシップを学ぶ機会を提供する研修事業です。本学のレクリエーション部が毎年サポートしている沖縄遊you塾の企画とは別で、県の事業として行われているものです。低料金である

ため様々な環境で育った子供たちが集まります。この中には毎年数人の自閉症などの障害を持った児童も参加します。そのため、共に行動する子供たちが障がい者に偏見を持たずに社会に出て行くステップアップの場ともなっているそうです。

しかし、この事業が廃止の危機に直面しています。知名度の低さから「兄姉が乗ったから乗る」という子供たちがほとんどで、全く初めてという参加者は稀で、参加する子供は年々減っています。

佐藤浩司さん(健康福祉学科3年)

最初は友達ができず不安な顔をしていた子供たちも、船上や訪問先での研修を経て、船を下りる時には必ず満足し、「たくさんの経験ができて良かった」と、言ってもらえる事業です。現在、参加した子供たちと高校生が中心となって存続の署名活動や資金面での援助を呼び掛けています。

教職員の方にも、低料金で子ども達が多く経験を得られるこの事業を知っていただき、口コミで広めていただければ幸いです。

バスケットボール東北リーグ結果



写真：東北大学連盟

10月9 - 11日に秋田県で東北大学バスケットボールリーグの2次リーグが行なわれました。女子は1次リーグをトップ通過しており、優勝に期待がかけられました。2次リーグも順当に勝ち進みましたが、最終戦となった山形大学との頂上決戦で4点差の惜敗を喫しました。本学と山形大学は7勝1敗の勝ち点で並びましたが、ゴールアドバンテージ1点差で準優勝という結果でした。しかし、2年連続で1回目のインカレ出場権を獲得することができました。

男子は2次リーグで振るわず4位で終え、インカレ出場とはなりませんでした。

インカレは11月23日から代々木第2体育館で開催されます。

個人賞は以下の通り

【男子】リバウンド王	田賀 脩造 (体育1年)
【女子】敢闘賞	中山 美穂 (体育4年)
大会ベスト5	中山 美穂 (体育4年)
	菅野 恭子 (体育3年)
アシスト王	押切 奈々 (体育4年)
	*2年連続
リバウンド王	菅野 恭子 (体育3年)
	*2年連続

安田尚造さんが仙台六大学野球リーグ初の100安打達成



安田尚造さん(体育学科4年)が秋季リーグ最終戦となった東北福祉大学との試合(今月4日)で4回に中前打を放ち、仙台六大学野球リーグ史上初の100安打を達成しました。安田さんは「今まで積み重ねてきたヒット1本でも欠けていれば達成できなかった数字。最終戦で達成できたのはめぐり合わせが良かった。」と、4年間戦った仙台六大学野球リーグに名を刻めた事を喜んでいま

す。森本監督も「リーグ戦はおよそ10試合。4年間で8回のリーグ戦があるが、1季で10本打てればよいとされるなか、安田は13本平均で打ってきた。この数字は素晴らしい。」と、1度の首位打者に輝き、主将としてもチームを牽引してきた安田さんを称えました。

安田さんは尽誠学園高校出身。高校2年生の時には8番セカンドで甲子園の地を踏んでいます。本学では1年生からレギュラーに定着し、チームの中心選手として活躍してきました。「目標だったリーグ優勝を一度も果たすことができず、悔いが残らないかと言ったら嘘になります。しかし、チームメートは将来は教員を希望などの具体的な目標を持った者ばかりで、練習以外でもよい刺激になりました。このチームの中でプレーできたことは自分の財産です。」と話し、「後輩達には自分達がいけなかった全国大会出場を果たしてもらいたい。」と、自分が成し遂げられなかった夢を後輩に託しました。

スポーツパフォーマンス研究会HP

馬助教と荒井准教授が村岡功氏(早稲田大学スポーツ科学学術院)と共に行った研究論文がスポーツパフォーマンス研究会のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

スポーツパフォーマンス研究 <http://sports-performance.jp/>